

## 22日は「秋の星空観察会」に参加しよう

**期日** 11月22日(火)

**時間** 午後6時～8時  
(午後5時半受け付け開始)

**会場** 鯨と海の科学館、船越公園

町教育委員会では、8月に行われた「夏の星空教室」に引き続き、一戸町観光天文台長の吉田偉峰<sup>いほう</sup>さんを講師に迎え「秋の星空観察会」を開催します。

当日は天体望遠鏡などを使って、この時期ならではの星座の観察などを行います。この季節にしか出会えない神秘的な星空の世界をあなたものぞいて見ませんか。

- ▶持ち物 防寒着、懐中電灯
- ▶参加料 1人400円
- ▶定員 10組(1組当たり4名まで)
- ※中学生以下は保護者同伴
- ▶その他 ▶十分な防寒対策をしてお越しください。▶雨天時は、鯨と海の科学館で講義を行います。
- ▶申込期限 11月15日
- ◆申込先・問い合わせ 町生涯学習課社会教育係(内線624)へどうぞ。



講師  
吉田 偉峰<sup>いほう</sup>さん

昭和59年生まれ、盛岡市出身。一戸町観光天文台長。星空に関する各種団体の設立携わる傍ら、山田町内では「県環境アドバイザー」として小学生を対象とした「水生生物調査」の講師としても活躍している。

### 特別講演会

## 「クジラのエサとひとのごはん」

企画展に合わせ、日本鯨類研究所の安永玄太<sup>やすながげん た</sup>氏の特別講演会「クジラのエサとひとのごはん」を開催します。クジラと人間の食べ物の違いなどを分かりやすく紹介するほか、講演後には鯨肉を使ったカレーの試食会を行いますので、家族で参加してみませんか。

- ▶期日 11月27日(日)
- ▶時間 ①午前10時半から②午前11時15分から
- ▶会場 鯨と海の科学館特別展示室など
- ▶対象 町内の小学3年生から6年生までの児童とその保護者
- ▶定員 各回40人(先着順)
- ▶申込期限 11月25日
- ◆申込先・問い合わせ先 鯨と海の科学館(☎84 - 3985)へどうぞ。

鯨と海の科学館では、クジラの生態や捕鯨文化などを学ぶ企画展「くじら文化を学ぼう」を開催します。クジラは陸から海へ移り住み、驚異的な進化を遂げた哺乳類最大の生き物——。企画展ではその生態の不思議や研究事例を紹介するパネル展示や食をテーマにした講演会を行います。本町にも深い関わりのあるクジラへの理解を深める貴重な機会です。

- ▽期間 11月6日(日)～30日(水)
- ▽会場 鯨と海の科学館1階特別展示室
- ※入館料が必要です。
- ◎特別展示 岩手大学福田研究室による「ミンククジラ筋肉の無限分裂細胞ができるまで」の研究成果をパネルで展示します。
- な機会です。ぜひお問い合わせの上、ご来場ください。

見て・聞いて・食べて  
「くじら文化を学ぼう」

# 図書館だより

11

2022.NoV.

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	④	5
6	7	8	⑨	10	11	12
13	14	15	16	17	⑱	19
20	21	22	⑳	24	25	26
27	28	29	30			

■：休館日 ○：移動図書館

## 【開館時間】

午前9時～午後6時

※日曜日と祝日は午後5時まで

※新型コロナウイルスの感染拡大状況によって、休館日や行事などを変更する場合があります。

◆問い合わせ 町立図書館(☎82-3420)へ。

## ◆移動図書館運行予定表

滞在時間 (40分程度)	運行日・場所	
	11月4日、18日	11月9日、23日
午前9時半～10時10分	大浦漁村センター	県営北浜アパート
午前10時半～11時10分	船越防災センター	豊間根生活改善センター
午後1時20分～2時	田の浜コミュニティセンター	下条コミュニティセンター
午後2時20分～3時	織笠コミュニティセンター	勤労者体育センター

## 新刊図書 PICKUP

### ■一般図書

- ヒトラーに傾倒した男 増田 剛著
- 90歳になっても、楽しく生きる 樋口 恵子著
- 遠野物語と柳田國男 新谷 尚紀著
- 可愛いハンガリー刺しゅう 筒井 はるみ著
- 瓢箪から人生 夏井 いつき著
- チンギス紀 14 萬里 北方 謙三著
- 死ぬんじゃねーぞ!! 中川 翔子著
- カニカマ人生論 清水 ミチコ著
- 児童書
- キーウの月 ジャンニ・ロダーリ作
- きらきらさがし 新井 悦子作、さこ ももみ絵
- なぞなぞでおばけやしきたんけん 石津 ちひろ文、大島妙子絵
- 生き抜け! 山口 理作、十々夜絵

## 各種イベント情報

### ◎クリスマス絵本展

クリスマスにちなんで絵本や紙芝居を展示します。ひと足早いクリスマス気分を味わいませんか。

▷期日 11月26日(土)～12月22日(木)

▷場所 ふれあいセンター「はびね」

### ◎お話しじゅうたん

町内の朗読ボランティアの皆さんが絵本の読み聞かせを行います。

▷日時 11月20日(日) 午前10時半から

▷場所 ふれあいセンター「はびね」多目的室

### ◎失敗しない! パエリア講座

町内産の食材を使った炊飯器で作るパエリア講座を開催します。家庭でもおいしく作れる簡単レシピを学んでみませんか。

▷期日 11月27日(日)

▷時間 午前11時～午後2時

▷場所 町まちなか交流センター

3階調理室

▷講師 佐藤澤一彦氏(町内飲食店店主)

▷参加費 1,000円(持ち帰り容器代込み)

▷持ち物

エプロン、三角巾やバンダナ、持ち帰り用の袋

▷定員 20人

▷申込期限 11月25日(定員になり次第締め切り)

▷その他 ▶作業は班ごとで行います。▶パエリアは試食をせず、持ち帰りです。

◆申込先・問い合わせ先 町生涯学習課社会教育係(内線623) へどうぞ。



## 教育相談

おなやみ  
専用☎82-0783

学校や勉強のことなどで悩みがある方はお気軽にご相談ください。

▷相談日 毎週月・火・木(年末年始、祝日を除く)

▷時間 午前9時～午後4時

## 鯨峰爽やかに

野球のある一部分をテーマに深掘りして放送している番組があるが、その中でキャッチャー出身の里崎氏は「ピッチャーはストライクゾーンで勝負せよ」と主張していた。バッターの打率は良くて三割で、七割は失敗するのであるからと、ところが野球放送を見ていると、はつきりボールとわかる球を投げている。それはその残像を活かして次の球で打ち取るかと意図しているようだが結局四球を与えたりしている▼佐々木朗希投手が完全試合を達成したときにはストライクが先行しバッタバッタと三振の山を築いていた▼ストライクで勝負するか、ボール球を活かすかはどこで決まるのだろうか。ピッチャーの資質か、キャッチャーか、それとも監督か▼この話題についてピッチャーとバッターの両方の視点を持つ大谷選手の意見を聞いてみたいものである。その大谷選手に栄冠は輝くんでしょうか。教育長 佐々木 茂人